

ウェブ記事作成へ取材 三戸高生



ホップ生産に関わる田沼さん(中央)、米澤さん(左端)の話を聞く三戸高の生徒

三戸
高校生のキャリア形成・研修の一環で、三戸高校みらい探究コースの3年生がウェブ上のローカルメディア「サンノワ」に掲載する記事作成を進めている。11月24日には三戸町内や田子町、岩手県三戸市からゲストを招き、記事に生かすため話を聞いた。

地域団体「サンノワヘール」の五十嵐淳代表が講師となり本年度計6回、それぞれ2時間の授業を行い、生徒の出身地に合わせて三戸町、南部町、田子町、二戸市に関する記事を4班が2本ずつ計8本作成、ウェブにアップする。24日は松尾和彦三戸町長、田子町のホップ農家田沼義行さん(66)と、ホップ栽培に挑

戦している三戸町地域おこし協力隊員の米澤雅貴さん(38)、二戸市のカダラルテラス金田一に関わる地域団体「WAKAS(ワカス)湯田 areas(エリアス)」の五日市寿丸さんを同校に招いた。南部町出身のグループは同町で19日に行われた「あおもり鍋自慢」で取材済み。

三戸町グループが「ねこのマラソン大会」提案に向けて松尾町長からヒアリングするなど、地域の活性化に向けたアイデアを基にゲストから話を聞き、構想を膨らませた。二戸市出身の佐藤飛夏さんは「二戸市で人を呼び込むためカダラルテラスを使ったグルメフェスタを開催したい」と思い話を聞いた」と説明。五日市さんは「地域盛り上げのため若い人がどんどんアイデアを出して」と助言した。(珍田秀樹)